

ガリシアの日

外国語学部スペイン語学科では、2022年度文化ウィークイベントとして「ガリシアの日」を開催しました（外国語学部文化ウィーク、人文学会協賛）。2019年のイベント開催以降、コロナ禍を経て初めての対面イベントであり、また、みなとみらいキャンパスでの初めての開催で、試行錯誤の連続でしたが、様々な部署の皆様のご支援ご協力を得て、無事に開催できました。心よりお礼を申し上げます。

ガリシア研究専門家のお話とガリシア音楽の演奏に加え、大学図書館からは貴重な写本「聖母マリア頌歌集」の展示をお許しいただき、また人文学会からのご支援で伝統的なスペイン菓子も味わうことができました。ほんの短い時間でしたが、はるか昔の世に思いを馳せ、当時の人々が耳にした音楽を共有する、その時間は学生一人ひとりの心に何かを残してくれたことと思います。当日、司会運営を担当してくれたスペイン語学科三年生の山本寛太さんが、イベントの様子を寄稿してくれました。大学でのイベントが、学生達の心にかを芽生えさせる、今後その機会であることを願ってやみません。（スペイン語学科・片岡）



サンティアゴ・デ・コンポステーラの大聖堂

11月25日、本学スペイン語学科のイベントで、「ガリシアの日」が開催されました。当イベントは2年に一度開催されるものだが、コロナ禍で前回のイベントは中止になっているので、自分としては今年が初めてのイベントでした。

ガリシアとはスペインの北西部に位置する自治州で、州都サンティアゴ・デ・コンポステーラにある大聖堂がとて有名です。またその州都を目指して巡礼するという文化が存在していて、長い道では1ヶ月以上かかる道のりもあります。こうしたことから、ガリシアの街では宗教色濃い文化が楽しめると思います。また、ガリシアに留学し

* * *

外国語学部 スペイン語学科 片岡 喜代子
外国語学部 スペイン語学科3年 山本 寛太



講師の浅香先生とガリシア音楽演奏家の方々

た人の話では、夏でもとても寒く現地で防寒用に服を買わなきゃいけないと言う話も聞きました。文化遺産でもヘラクレスの塔では海風がとても吹き、物凄く寒いそうです。

今回はそんなガリシアの文化を講師の先生や専

門の人をお招きして学んでいこうというイベントでした。自分はイベントの開催をお手伝いするという立場で参加したので、その視点を交えながらイベントについてお話ししていきます。

第一部ではガリシアの文芸復興について学びました。この時間はガリシア音楽に通じている演奏家の方々が来てくださり、ガリシア語の曲を聴かせていただきました。今回イベントに参加しているスペイン語学科の学生で、ガリシア語を学んでいる人は少ないため、ガリシア語曲の内容を理解できる人は少なかったかと思えます。ですが講師の浅香先生が、一曲ずつ内容を解説してくれたので歌詞の内容を一部理解し、ガリシア語の歌詞の美しさに触れることができました。実際、ガリシア語は現在に至るまでに一度衰退をしていた過去があるので、こうした言葉の美しさを学ぶことができる時代に感謝したいです。

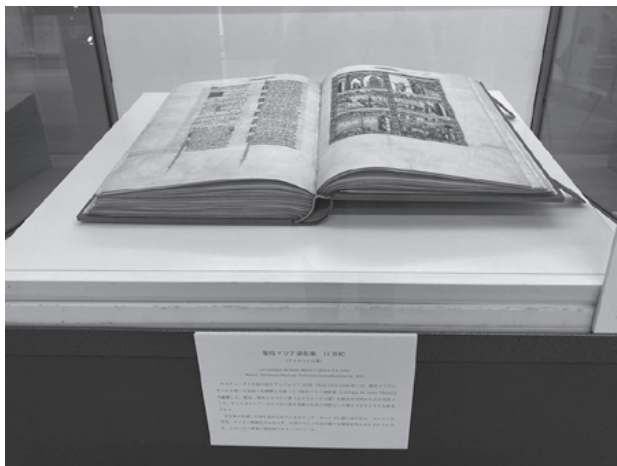
第二部では、聖母マリアの頌歌集についてです。聖母マリアのカンディガ集は、中世ガリシアに書かれた頌歌集です。全ての曲が聖母マリアについ



ロマネスクハープの演奏

て言及した曲になっていて、このうちのいくつかをロマネスクハープの演奏家の型が生演奏を披露してくれました。この音楽は聖母マリアの優しく包み込む雰囲気を感じていて、教会で聞くパイプオルガンの旋律に近いものを感じました。そしてこの歌が書かれた本は現存するものが全て発見されているわけではなく、とても貴重です。そのため、マルティン・コダックスビンデル写本というものが存在するように、譜面を写しとって保存されたりする程のものです。

ガリシアの文化を知る上でなぜこんなにも文学が大事なのかと言うと、先ほど言及したようにガリシア語が衰退して使われなくなる時期が歴史に



大学図書館所蔵の「聖母マリアの頌歌集」写本

は存在するからです。イベリア半島で公用語をスペイン語に統一しようという動きがあり、自治州毎の公用語が排除されてしまう事がありました。そこからガリシア語が復興するまで、文学の発展、普及が後押しとなって自治州運動が加速したという背景があります。

今回その一部をイベントで目にする事ができましたが、参加したみなさんはどう感じたでしょうか。当時の背景に想いを馳せながら、聞いた人もいるでしょうし、はたまたその音楽性の素晴らしさに目をつけた人もいるでしょう。当時を生きた人々はこの文学達にどのような想いを馳せたのでしょうか。

現在、ゼミナールで言語の研究を行なっていて、自分はこのイベントで得た知見を元に自分の研究を進めていきたいと考えています。言語と音楽が密接に結びつくなんてとても素晴らしいことではないでしょうか。

(外国語学部スペイン語学科 3年 山本寛太)